

令和2年室蘭市社会教育委員の会第6回定例会会議録（要旨）	
日 時	令和2年12月17日（木） 10時00分～12時05分
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、石井委員、大須賀委員、小野委員、後藤委員、中村委員
欠席委員	大平委員、佐野委員
事務局	國枝教育長、成田部長、佐々木主幹、大澤主幹、木村主幹、伏見館長、坂口課長、谷中主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和2年第4回室蘭市議会定例会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 室蘭の表彰は内容がはっきりして広い分野にわたって行われていると思うが、表彰されていない人や若い人たちの励みになるようなものにするという考えには同感である。市民への周知は広報紙だけで良いか。自分も頑張ろうということにつながるPR方法を考えていただきたい。

（事務局） 名称が類似した表彰もあるため、功績内容がわかりやすい名称にしたい。

（B委員） 表彰の基準外でも素晴らしい人がいると思うが。

（事務局） 外国人に対する表彰のほか、表彰の基準となる活動年数の見直しなど、表彰の範囲を広げられるような検討をしたい。

（C委員） 勤労青少年表彰は推薦企業の偏りを感じるが、色々な企業に推薦してほしい。

（事務局） 多くの企業に周知しているが、企業によって考え方がるので、これからも周知に力を入れたい。

（C委員） 受賞したことで、一步前進できるような表彰になると良い。

（A委員） 企業の大小もあるが、色々な勤労青少年に光があたるような表彰が良い。

（B委員） 地域で活躍している人を推薦して欲しい。

（D委員） 優良勤労青少年表彰は、企業の推薦が必要か。

（事務局） 勤務先の推薦が必要。

（B委員） 地域活動を頑張る自営の人もいる。

【日程2】

報告第2号 室蘭市環境科学館条例制定の件について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 科学館を運営する指定管理者は、建物や入場料金の管理だけでなく、施設の設定目的を理解し、市民サービスを担うという自覚が欲しい。

（事務局） 科学館の指定管理者募集は本日から始めるが、目的に沿った運営を心がける団体を選定したい。また、選定後には、指定管理だけではなく関係団体とも連携することを伝えたい。

- (B 委員) 科学館は以前入場料を値上げした後、入館者が減少したと聞いたが、新館の入場料を 600 円とした背景や、料金設定の考え方は。
- (事務局) 施設使用料金は、市の施設全てにおいて 5 年ごとに見直すこととしており、科学館の料金改定と同時期にきらんが開館したことも入館者減の一因と考える。料金設定の考え方は、施設のランニングコストをもとに、利用者に応分の負担を求めるもので、他都市の事例を考慮して設定している。値上がりとなることはご理解いただきたい。
- (B 委員) 600 円はどれほどの価格か。高いのだろうか。
- (C 委員) 料金が高いかどうかは、展示物の内容によるのでは。展示が良ければ 600 円でも行くと思う。
- (A 委員) 適正な料金かどうかは行ってみないと分からないが、公共施設等の値上げの仕方は工夫しないとまずいと思う。
- (B 委員) 日常的に通える施設であってほしい。

【日程 3】

報告第 3 号 市立室蘭図書館条例中一部改正の件について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答)
- (E 委員) 改正後の条文の中に指定管理者による管理と加えられたのは、将来的に図書館の運営を指定管理に任せられるようにしたのか伺いたい。
- (事務局) 2015 年に全ての市施設の条例に指定管理を行わせることができるようにする規定を追加した。今回は、他施設条例に合わせて見出しを付けたもの。
- (E 委員) 一年前に読書団体と図書館との意見交換会で、図書館は直営とすると聞いていたので確認した。
- (D 委員) 科学館との相互連携と記載しているが、一度科学館を出て図書館へ行き、同日に科学館へ再入場できるか。自分なら科学館と図書館を行き来したい。
- (事務局) 指定管理者が決定した後に運用を決めていくが、現在は当日の入場券があれば、再入場可能なので、新館でも現在の手法を踏襲したい。
- (E 委員) 科学館から出た後、他の人がそのチケットを使って再入場することも考えられるので、対策を考えた方が良い。
- (B 委員) 2 階で作ったスライムは 1 階に持ち込んでだめなどのルール作りが必要になるかもしれない。全国的にも図書館と科学館の合築はめずらしいと聞く。
- (事務局) 合築を活かし上手く連携していきたい。
- (B 委員) 指定管理者の決定はいつ頃の予定か。
- (事務局) 令和 3 年 6 月にお示しできるよう進めたい。

【日程 4】

報告第 4 号 室蘭市体育施設条例中一部改正の件について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程 5】

報告第 5 号 令和 3 年 1 月・2 月の行事予定について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程6】

研究協議1 室蘭市社会教育中期推進計画（案）について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（B委員） 推進計画では実際の事業がわかりにくいので、次期後期推進計画では事業が見える形にして事前に提示してもらう方が良いと感じた。

（A委員） 事業の多さには感心する。この計画に従い実施していただきたい。

（B委員） 新型コロナウイルスの学習機会があると良い。単身高齢者に情報が届いていないと感じる。

（A委員） 個人情報保護は大切だが、せめて胆振ではなく自治体別に感染者数の報道をしてもらわないと、主催する講習会の開催など、判断しにくい。

（事務局） 新型コロナウイルスについては保健所の扱いになるので、自治体での情報発信は難しいが、誤情報が流れてはいけないので、道と協力していきたい。保健福祉部に確認後、必要な情報は提供していきたい。

（B委員） 講習などは国の判断よりも現場の判断になってきているので、情報共有をお願いしたい。

（事務局） 現在は、講習等の活動を止めてはいない。新型コロナウイルス関連の情報は共有していきたい。

【日程7】

研究協議2 令和4年度以降の成人式の考え方について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 成人祭は3部制と聞いたが、1回につき時間はどれくらいか。入替え制のため、ロビーなど狭い場所での接触が心配。

（事務局） 1回につき開場から終了まで60分と考えており、前の組が出てから次の組を入場させる。順路を設け、すれ違いを防止し、感染予防に努める。

【日程8】

その他 (1) 令和3年社会教育委員の会日程予定

(2) 令和3年北海道社会教育委員連絡協議会について

(3) 令和2年全国社会教育研究大会（新潟大会）の配信について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答） なし

その他 (4) 室蘭市環境科学館・図書館愛称公募の実施内容について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（B委員） 選定委員は社会教育委員のほかに教育長も入るのか。

（事務局） 入る予定。

（A委員） 公募チラシ中、ネーミングライツなどのカタカナ言葉には注釈が必要では。

（B委員） チラシ中のブラウジングストリートはどこを指すか。

（事務局） 新図書館中央にある新聞や雑誌を座って読める場所のこと。

（B委員） 愛称募集のチラシだけでイメージを膨らますのは難しい。科学館と図書館両方のイメージを含んだ愛称の応募を期待する。

(事務局) 記載方法を工夫したい。

その他 (5) 室蘭市教育施策の大綱(素案)について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(A委員) 大綱の表紙に市内小中学校の校章が使われているが、絵柄だけではどの学校のものかわからない。また、「はじめに」にはAIやIoTなど横文字の表現が多く、わからない。どこに説明を入れるのか。

(事務局) 裏表紙をつけるなど、注釈を入れる場所を検討したい。

(B委員) 大綱の素案はどのような議論を経て作られたのか。

(事務局) 国の教育振興計画を参酌して各自治体の事務局がたたき台を作り、教育委員と市長の意見をいただいて基本方針、基本施策を作る。

(B委員) キーワードが多いが、キーワードごとに事業があるのか。

(事務局) 資料に示したとおり、基本方針・基本施策を柱に事業を進める。また、取り組みは増やしていく。

(B委員) 事業を安易に増やすと混乱も増えるので、現場と対話しながら進めて欲しい。

次回開催日 令和3年2月18日(木)